

別海町の保育園・幼稚園・小学校の連携について(2)

本町では、幼児教育の重要性を踏まえ「保幼小連携」を軸とした取り組みを推進しています。

- 幼児期の教育は生涯にわたる基礎を培うものであり、学力向上はもとより将来の生活の安定にもつながるため、質の高い幼児教育の機会を保障することが大切です。
- 幼児教育と義務教育の密な連携により「小1プロブレム」といわれる、小学校に入学した子どもが「集団行動をとれない」「机に座っていない」といった問題の解消など、子どもにとってスムーズな教育が推進できます。

忍耐力、自己抑制、目標への気持ち、
社交性、思いやり、自尊心など

非認知能力の育成
スタートは**幼児期**

ジェームズ・ヘックマン(ノーベル経済学賞)
著書『幼児教育の経済学』から

具体的な取り組み

■各学区での保幼小交流会（研修会）

本町に8つある全ての学区で、保育園または幼稚園（上西春別学区と中央学区では保育園と幼稚園両方）と小学校が、子どもたちの状況や教育等の活動内容や手立てを交流し、同学区で「めざす子ども像」を共有するなど、子どもたちの健やかな成長に向けて連携するための交流会や研修会を実施しています。

※多くの学区では中学校も含めた交流会を開催しています。

■保育園・幼稚園と小学校による「接続カリキュラム」の作成

幼児教育から義務教育への円滑な接続を図るための、教育内容とそれに関わる支援を計画したものを「接続カリキュラム」といい、本町では平成27年度から、保育園・幼稚園で小学校入学に向けた接続カリキュラムを、小学校では新1年生がスムーズに学習や生活ができるように立てた接続カリキュラムを作成しています。

新たな取り組み

■「小学校スタートカリキュラム」の協働作成

これまでは保育園・幼稚園と小学校がそれぞれの接続カリキュラムを作成してきましたが、小1プロブレムなどを解消し、新1年生がよりスムーズな学校生活を送ることができるように、保育園・幼稚園職員と小学校職員の協働により、これまでよりも子どもたちの実情にあった実効性のある「小学校スタートカリキュラム」を作成します。

■北海道教育委員会「幼小連携事業」の指定

北海道教育委員会では、昨今の幼児教育の重要性が高まる中、全ての幼児教育施設で提供される教育の質の向上のための研修、助言等を行うために「幼児教育推進センター」を設置するとともに、道内5地区に「幼小連携・接続推進リーダー活用事業」と「幼児教育と小学校教育の接続の円滑モデル事業」（以下、幼小連携事業）を指定し、幼児教育の一層の推進を図っています。その5地区の一つに本町が指定を受け、野付小学校が拠点校となり、同学区にある野付幼稚園と連携を取り、事業を進めています。本年度は野付学区で取り組み、来年度は町内全学区で取り組みを推進していく予定です。

幼小連携事業

幼稚園
保育園

連携と協働

小学校

小学校スタートカリキュラムの作成など

本年度試行中の「幼小連携事業」の取り組み（野付小学校区）

拠点校である野付小学校に「幼小連携・接続推進リーダー」となる教員を1名配置し、小学校の教育はもとより、野付幼稚園の教育にも携わることで、連携の土台となるそれぞれの取り組みの周知と啓発により、幼稚園と小学校の間の理解を深めた上で、実効性のある交流会や小学校スタートカリキュラムの作成等を行い、小1プロブレムをはじめとした子どもたちの「困り感」の解決に向けた取り組みを推進しています。

また、担当教員の先進地視察や、先進地から講師を招いた交流活動により、本町の幼小連携の一層の充実とレベルアップを図ります。

10月の主な学校行事等

※詳細は各校へお問い合わせください。

- ◆5日(土) 中西別小学校 学芸会
- ◆6日(日) 別海町パイロットマラソン
- ◆12日(土) 上風連小学校・西春別小学校・上春別小学校 学芸会、
上西春別小学校 学芸発表会、
中西別中学校 学校祭
- ◆13日(日) 野付小学校・中春別小学校 学芸会

- ◆19日(土) 上風連中学校・中春別中学校・西春別中学校・上西春別中学校 文化祭
- ◆20日(日) 別海中央小学校 学芸会、
野付中学校 文化祭
- ◆26日(土) 上春別中学校 学校祭、
別海中央中学校 学校祭～27日(日)
- ◆30日(水) 別海町合同音楽祭（中学校・高校）
- ◆31日(木) 別海町合同音楽祭（小学校）